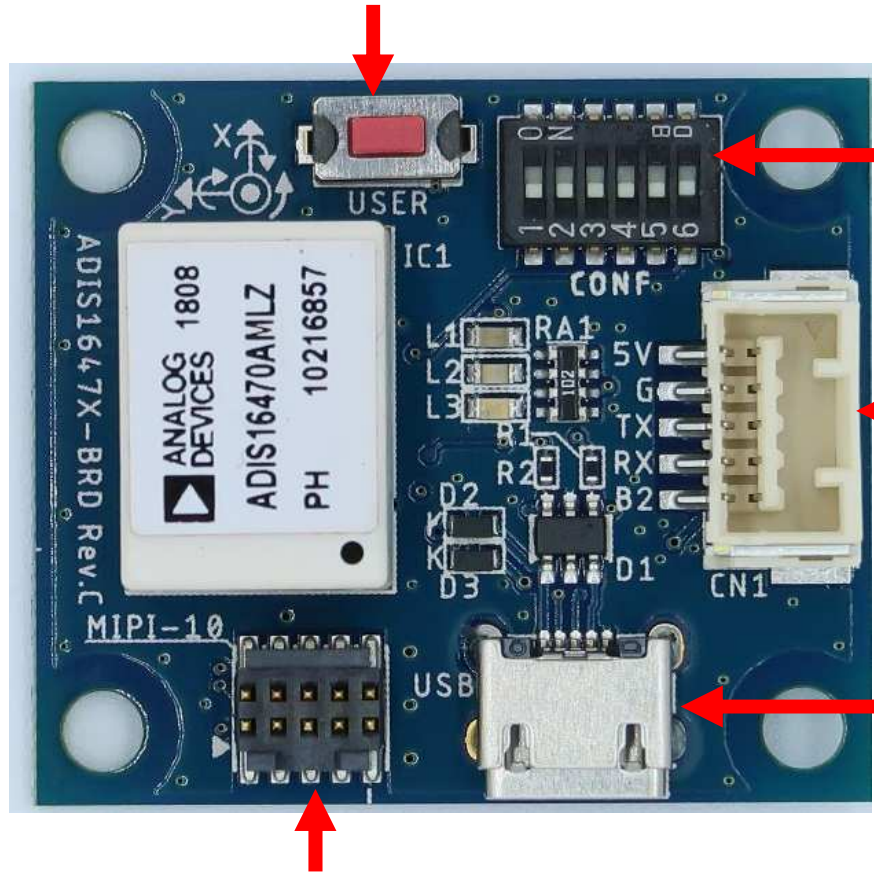


TR-IMU1647X ソフトウェア開発マニュアル

初版：2019年09月24日

IMU基板説明

姿勢推定リセットスイッチ



モード選択スイッチ

外部電源 & UART端子

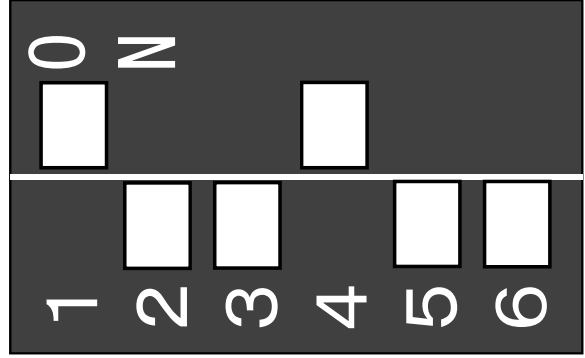
Micro USBコネクタ

MIPI-10 デバッグコネクタ

モード選択スイッチ

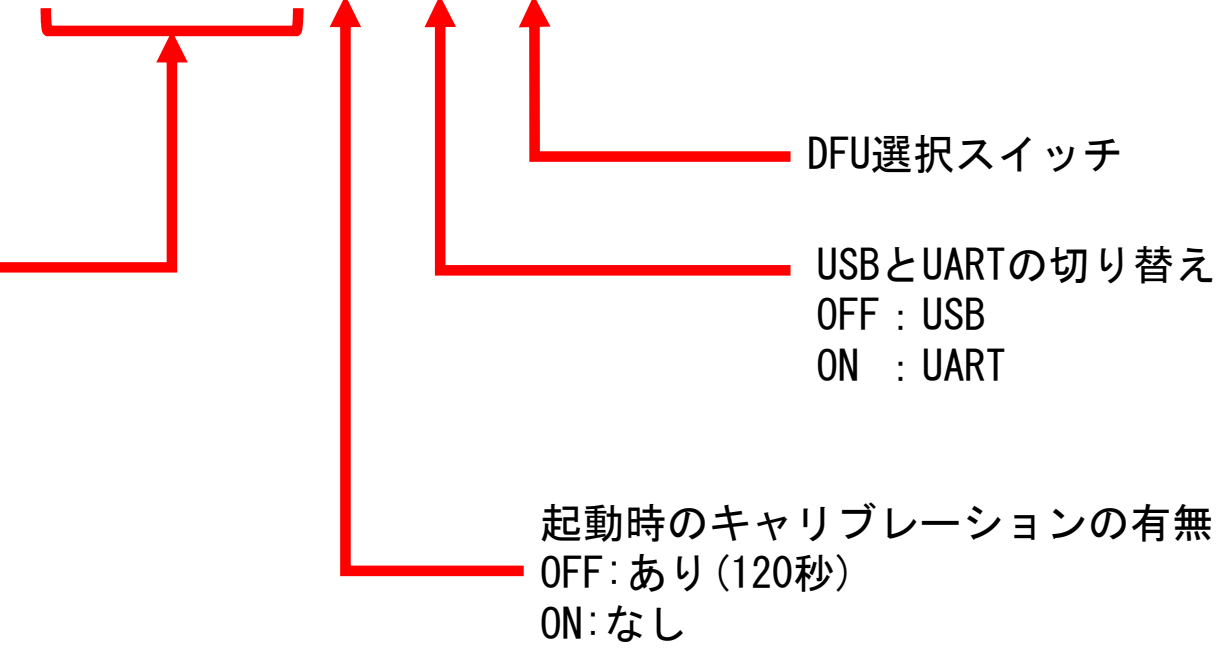
(図は出荷時設定です)

動作モード	1	2	3	4
SPI モード	OFF	OFF	OFF	OFF
姿勢角 [deg] 出力	ON	OFF	OFF	OFF
ジャイロ [deg/s] 出力	OFF	ON	OFF	OFF
レジスタ値出力	ON	ON	OFF	OFF
バイナリ出力	OFF	OFF	ON	OFF
姿勢角 [deg] ・ 加速度 [g] 出力	ON	OFF	ON	OFF
ジャイロ [deg/s] ・ 加速度 [g] ・ 温度 [deg] 出力	OFF	ON	ON	OFF



ON

OFF



※表にない組み合わせは未実装です。

TrueStudioのインストール

以下ページよりダウンロードしてください。

<https://atollic.com/resources/download/>

インストール手順は以下ページなどを参照してください。設定は不要なのでできるようにインストールしてください。

<https://yukblog.net/truestudio-windows-install/>

マイコンのハードウェアの設定を変更する場合はSTM32CubeMXも入れる必要があります。

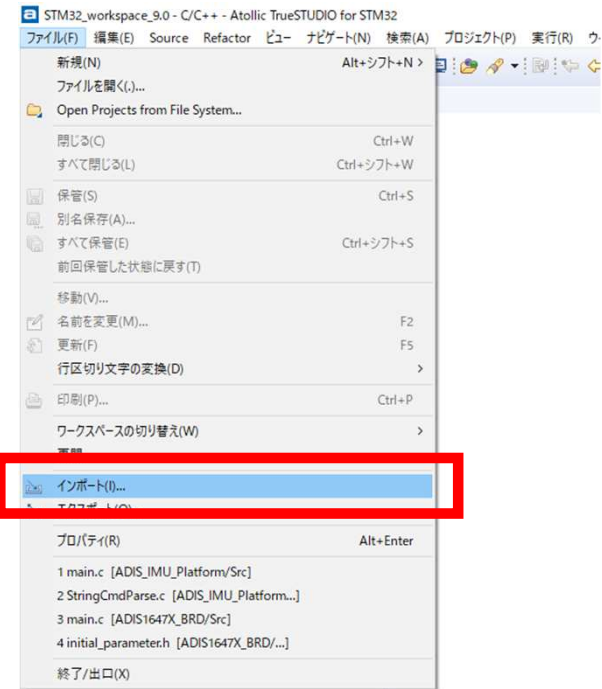
<https://www.st.com/ja/development-tools/stm32cubemx.html>

TrueStudioでプロジェクトの登録

TrueStudio上で操作する前にプロジェクトを特定のディレクトリに入れる必要があります。

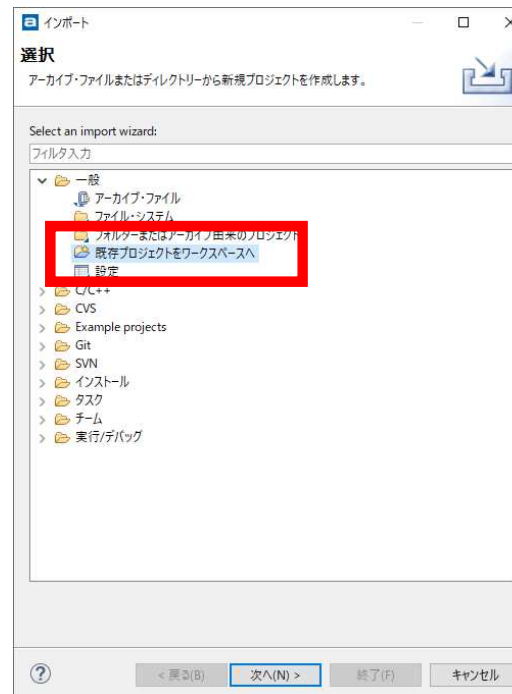
1. C:\%Users%\” ユーザ名” \%Atollic%\TrueSTUDIO%\STM32_workspace_9.X にプロジェクトファイルを入れる。

2. ファイル→インポートを選択



2019/09/24

3. 一般→既存プロジェクトをワークスペースへを選択



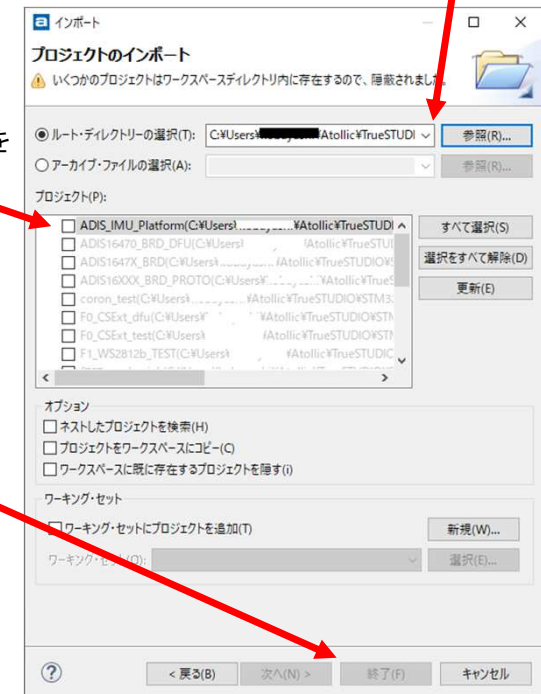
ソフトウェア開発マニュアル 株式会社テクノロード

①. 1のディレクトリを参照する

4. 番号順に処理する

②. プロジェクトを選択する

③. 終了を押す



5

USB通信のみでプログラムを書き込む方法

開発環境が無い場合はUSBによる書き込みも可能です。

DFU書き込みを行う場合は以下URLからSTM32CubeProgをDLしてください。

<https://www.st.com/ja/development-tools/stm32cubeprog.html>

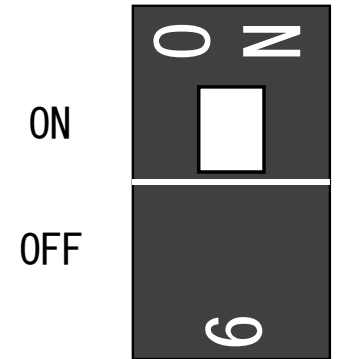
また、ファームウェアのHEXファイルを用意する必要があります。

DFUの書き込み手順

1. IMU基板の電源を切る。
2. DFU選択スイッチを上に向けてONにする。
3. IMU基板の電源を入れる。
4. STM32CubeProgを起動した後にConnectボタンを押して、マイコンと接続できれば青いログが流れ出す。
5. 画面上部の” Open file” タブをクリックしてファームウェアを選びDownloadボタンを押す。
6. 完了されれば” File download complete” とポップアップが表示される。
7. DFU選択スイッチを下に向けてOFFにする。
8. 電源を入れ直すか、マイコンリセットボタンを押すと書き込んだファームウェアが動き出す。

STM32CubeProgの画面説明は次のページに表記しています。

DFU選択スイッチ



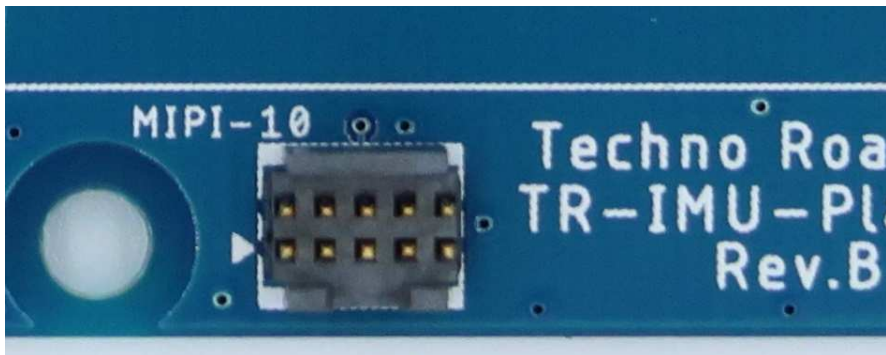
SWDによるプログラムの書き込み方法

MIPI-10デバッグコネクタを使用することでプログラムの書き込みとデバッグが可能です。
公開している(予定)プロジェクトの開発環境であるTrueStudioではST-LINKとJ-LINK(未確認)が対応しており、
JTAGコネクタにMIPI-10への変換コネクタを取り付けることで基板と接続可能です。

以下URLの変換コネクタは動作確認してあります。

<https://www.digikey.co.uk/product-detail/en/olimex-ltd/ARM-JTAG-20-10/1188-1016-ND/3471401>

MIPI-10デバッグコネクタ



ST-LINK/V2



MIPI-10の変換コネクタ



STM32CubeProgの画面説明

The screenshot shows the STM32CubeProgrammer interface. Annotations include:

- Open fileタブ**: Points to the 'Memory & File edition' tab.
- Downloadボタン**: Points to the 'Download' button in the memory editor.
- Connect/Disconnectボタン**: Points to the 'Disconnect' button in the USB configuration panel.
- FLASHメモリのEraseボタン**: Points to the Erase button in the bottom toolbar.
- ログ画面**: Points to the Log window at the bottom.

Address	0	4	8	C	ASCII
0x08000000	20080000	08007971	080057F1	080057F5	... qy..ñw..õw..
0x08000010	080057F9	080057FD	08005801	00000000	ùw..ýw...X.....
0x08000020	00000000	00000000	00000000	08005805X..
0x08000030	08005809	00000000	0800580D	08005811	..X.....X...X..
0x08000040	080079C1	080079C1	080079C1	080079C1	Áy..Áy..Áy..Áy..
0x08000050	080079C1	080079C1	080079C1	080079C1	Áy..Áy..Áy..Áy..
0x08000060	080079C1	080079C1	080079C1	080079C1	Áy..Áy..Áy..Áy..
0x08000070	080079C1	080079C1	080079C1	080079C1	Áy..Áy..Áy..Áy..
0x08000080	080079C1	080079C1	080079C1	080079C1	Áy..Áy..Áy..Áy..
0x08000090	080079C1	080079C1	080079C1	080079C1	Áy..Áy..Áy..Áy..
0x080000A0	080079C1	080079C1	080079C1	080079C1	Áy..Áy..Áy..Áy..
0x080000B0	080079C1	08005821	080079C1	080079C1	Áy..!X..Áy..Áy..
0x080000C0	080079C1	080079C1	080079C1	080079C1	Áy..Áy..Áy..Áy..

```
Log
16:41:33 : File download complete
16:41:33 : Time elapsed during download operation: 00:00:01.875
16:41:33 : Memory Programming ...
16:41:33 : Opening and parsing file: ADIS16XXX_BRD.hex
16:41:33 : File : ADIS16XXX_BRD.hex
16:41:33 : Size : 49000 Bytes
16:41:33 : Address : 0x08000000
16:41:33 : Erasing memory corresponding to segment 0:
16:41:33 : Erasing internal memory sectors [0 1]
16:41:34 : Download in Progress:
16:41:35 : File download complete
16:41:35 : Time elapsed during download operation: 00:00:01.893
```